

薬連ハイライツ

日本薬剤師連盟 平成28～29年度 新執行部一覧

会長	山本 信夫
副会長兼幹事長	岩本 研
副会長	荻野 構一
副会長	尾島 博司
副会長	安東 哲也
副会長	石井 甲一
副幹事長	手塚 幹子
副幹事長	鳥海 良寛
常任総務	大澤 泰輔
常任総務	小野 春夫
常任総務	高木 秀彦
常任総務	丹下 富博
常任総務	浜田 嘉則
総務	遠藤 一司
総務	大原 整
総務	小山 明俊
総務	櫛方 純子
総務	近藤直緒美
総務	清水 大
総務	高橋 良徳
総務	徳吉 公司

総務	豊見 敦
総務	中井 順一
総務	永田 泰造
総務	根本 陽充
総務	長谷川祐一
総務	藤澤 芳則
総務(北海道)	大江 利治
総務(東北)	安田 哲弘
総務(関東)	内山 宣世
総務(東京)	岸 亨
総務(北陸信越)	長澤 敬一
総務(東海)	西井 政彦
総務(大阪)	藤垣 哲彦
総務(近畿)	稻葉 真也
総務(中国)	深田 慎治
総務(四国)	西森 康夫
総務(九州)	藤野 哲朗
監事	根本 清美
監事	高祖 順一
監事	大森 章

(平成28年4月20日現在)



山本信夫 会長



岩本研 副会長兼幹事長



荻野構一 副会長



尾島博司 副会長



安東哲也 副会長



石井甲一 副会長



手塚幹子 副幹事長



鳥海良寛 副幹事長

もとゆき便り

がん対策基本法の見直しについて

参議院議員
藤井 もとゆき

今般の熊本地震により、お亡くなりになられた方のご冥福お祈り申し上げますとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。一刻も早い復旧・復興をお祈りしたいと思います。また、全国の薬剤師会の先生方には、医療チームとして被災地で精力的な支援活動をされていますことに、この紙面をお借りして感謝と御礼を申し上げます。

さて、4月に開かれた自民党の厚生労働部会において、超党派の有志国会議員で議論が進められている、がん対策基本法の見直しの検討状況が報告されました。

がん対策基本法は2006年に成立、翌年4月から施行されました。2人に1人が罹患する国民病とも言えるがん疾患は、国民の生命及び健康にとって依然として重要な課題となっていたことから、がん対策の一層の充実を図ることを目的に、がんに関する研究の推進と活用、がん治療の均質化の促進、患者の意向を尊重したがん医療の提供の3項目を基本理念として制定され、基本理念を踏まえて策定された「がん対策基本計画」に基づき、その対策が総合

的かつ計画的に進められてきました。

がん対策基本法の制定から10年が経過し、がん対策の充実とともに、治療・診断技術の進展や優れた治療薬の開発などにより、がんを早期に見つけることができれば、治癒率も一段と高まるところとなりました。こうした状況を踏まえ、がん患者への就労支援や学業支援など、総合的な支援が受けられるようにするために、がん対策基本法の3つの理念に加え、がん患者が安心して暮らせる社会の構築を目指し、適切な医療のみならず、福祉的支援、教育的支援を充実すること。小児がんや難治性のがんなど、その特性に配慮すること。福祉、雇用、教育等と総合的に実施すること。などの5項目を追加し、国民や事業主の責務規定を設けることなどを提案しています。

地域包括ケアシステムが進み、がん患者が地域で安心して暮らしていくうえで、薬剤師の果たすべき役割は一層大切になるものだと思います。

藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、全国藤井もとゆき薬剤師後援会（下記アドレス）までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@mfujii.jp

全国藤井もとゆき薬剤師後援会 WEBサイト「F-CLUB」がオープン

全国藤井もとゆき薬剤師後援会が、WEBサイト「F-CLUB」をオープンした。本連盟ホームページにもリンクバーがあるので、そこから閲覧が可能となっている。(下図は全国藤井もとゆき薬剤師後援会が出しているチラシ)



<http://f-club.net/>

全国藤井もとゆき薬剤師後援会のWebサイトがオープンしました。

全国各地で開催される後援会の動きや、薬学生や若い世代にむけたコンテンツを発信していきます。

今後ともご注目ください。

薬学生のゆきちゃんが政治、選挙について考え、学んでいきます。なぜ政治に目を向かないといけないのか？選挙の投票はどのようにおこなうのか？など選挙の基本を漫画で紹介していきます。

全国の薬剤師からメッセージが届いています。「こんなこと頑張ってます！」「あんな薬剤師になりたい！」と熱いみなさんの声をご紹介します。あなたのお知り合いも登場するかも？！

「こんなことやります」では後援会の今後の活動予定をご紹介します。お近くに藤井議員が登場する際には是非応援をお願いします！
「こんなことやりました」では各地から頂いた報告をご紹介いたします。

今、医薬分業はどこに向かっているのか。その答えは医薬分業が辿ってきた歴史を振り返ることで紐解くことができるかもしれません。そして、現在に至るまでに働いたエネルギーはどのようなものだったのか、過去を知ることで今必要なものは何かを考えます。

